

カナダ日本語教育振興会 2023 年度年次大会
CAJLE Annual Conference 2023
Conférence annuelle CAJLE 2023

これからの日本語教育: 多様化する社会とともに
Japanese language education into the future: Unlearning teaching practices in the increasingly
diverse society
L'avenir de l'enseignement de la langue japonaise: Désapprendre des pratiques d'enseignement
dans une société de plus en plus diversifiée

於: ケベック州モントリオール BEST WESTERN Ville-Marie Hotel & Suites
Best Western Ville-Marie Hotel & Suites, Montreal, QC
BEST WESTERN Ville-Marie Hôtel & Suites, Montréal, QC

8月17・18日 / August 17-18 / 17-18 août

- 後援・協賛・協力 / Conference Sponsors・Supporters / Commanditaires・Supporters de la
conférence -

Consulate General of Japan in Montreal
The Japan Foundation, Toronto
Montreal Japanese Association of Commerce and Industry
Blue Tree Management Ltd.
UNIQLO CANADA Inc.
School of Continuing Studies, McGill University
Department of East Asian Studies, McGill University
Prince Takamado Japan Centre for Teaching and Research
Canadian Association of Second Language Teachers

【基調講演】

「日本語」再考: 言語の「ユニット思考(unit thinking)」を超えて
ドーア根理子先生(ラマポ大学)

【教師研修 I】

Differentiated teaching in a language classroom: Strategies for teaching to different skill levels
Dr. Philippa Parks (University of Sherbrooke)

【教師研修 II】

学習者が「できる(Can-Do)」を実感する教材作成—課題遂行型アプローチ再考—
櫻井陽子先生(ニューヨーク市立大学ハンター校)

【教師研修 III】

「日本語」「間違い」「通じる」って何?: 標準語を超えた多様な言語教育を目指して
ドーア根理子先生(ラマポ大学)

【口頭発表】

S1-1 オノマトペの音象徴に注目した学習ユニットの実践報告
小林ヒルマン恭子(ブリティッシュコロンビア大学)

S1-2 ボイスミラーリングを取り入れた音声アクティブラーニング
王伸子(専修大学)

S1-3 A Mnemonic Approach to Kanji Proficiency
John Esposito (Chukyo University)

S2-1 ビジターセッションにおける「教育の不確実性」と「社会化」—大学日本語クラスの実践に着目して—
中川康弘(中央大学)

S2-2 Introducing Ainu Culture in Beginning Japanese Language Classes: Indigenizing the Curriculum through Collaboration and Open Educational Resources
Nina Langton (University of British Columbia)

S2-3 日本語教育実践のピア・レビューに見られる日本語非母語話者の観点
齊藤美穂(神戸大学)

S3-1 「共通語としての日本語」における言語調整のストラテジーとその表現
渡辺文生(山形大学)

S3-2 教科書至上主義脱却: 多様性に対応する日本語教育
三浦謙一(フランクリン&マーシャル大学)

S3-3 Exploring how struggling JFL learners experience WCF: A classroom case study of first-year college students
Jun Takahashi (Colby College)

S4-1 Effects of Japanese Prosody on Comprehensibility: A Comparison of Techniques for Training L2 Japanese Prosody
Masako Shimada (University of Calgary)

S4-2 現代日本語の格助詞と接続助詞の機能的重なり—逆説的表現の容認度調査から—
天野みどり(大妻女子大学)

S4-3 日本語における母親の副助詞「ワ・モ」の使用と項構造との関連
加山裕子(マニトバ大学), 大嶋百合子(ビクトリア大学・マギル大学)

S5-1 日本にルーツを持つカナダ育ちの若者にみる学びの多様性: 日系カナダ人学生が大学で日本語を学び始める動機
三井晶子(ヨーク大学), 青木恵子(クイーンズ大学)

S5-2 多言語環境で育った大学生の読解と日本語に対する意識に関する考察 —読解プロセスの観察とインタビュー調査から探る課題—
藤本恭子・金山泰子(国際基督教大学)

S5-3 Perceptions on Teaching and Learning “Japanese” as a “Heritage” Language: The Construction of a Virtual Nikkei Space
Tsugumi (Mimi) Okabe (University at Buffalo, SUNY), Mitsuaki Shimojo (University at Buffalo, SUNY), Sachi Kikuchi (Japanese for Nikkei Inc.)

S6-1 ChatGPT の日本語教育における活用可能性と懸念: 生成文章の類似点・相違点の分析より
吉村由紀(マサチューセッツ大学アマースト校)

S6-2 ChatGPT と日本語学習: 学習者との協働プロジェクトの試み
青木裕美(アルバータ大学)

S6-3 グローバルネットワークを利用した大学日本語ライティングコースの開発実践
矢吹ソウ典子(ヨーク大学)

S7-1 「標準」や「正しさ」を超えた日本語教育とは
朴智淑(トロント大学)

S7-2 江戸時代は「清潔」な文化? —「脱標準化・脱ユニット思考」の教室活動の試み—
鈴木貴美子(ハバフォード大学)

S7-3 中国の高校で教える中国人日本語教師が必要とするもの
高梨信乃(関西大学)

S8-1 日本とカナダの大学間における COIL の実践報告—学びを生み出す為の試み—
吉澤明子(マウントアリソン大学)

S8-2 バーチャルエクスチェンジプログラムの実践例と今後の可能性
シャープ昭子(カルガリー大学)

S8-3 オンライン会話練習プログラム“TalkAbroad”を利用した異文化学習プロジェクト
松永由美子・ハック真理子(コロラド大学ボルダー校)

【ポスター発表】

P-1 Word Order and the Prosody of Conjunctive Coordination L1 Influence: The Case of Japanese-English Bilinguals
Yoriko Aizu (University of Ottawa, Carleton University)

P-2 合理的配慮からアクセシビリティへ: 多様化する社会における教育支援と工夫
赤井佐和子(ヒューロン大学)

P-3 外国人留学生に対する LMS を活用した法学系授業の日本語学習効果に関する検証
橋本一雄(中村学園大学短期大学部)

P-4 反転授業における学習者の学びと課題—「専門読解」コースの実践を通して—
猪狩美保・古市由美子(東京大学大学院工学系研究科)

P-5 「セルフスタディー・プロジェクト」を通して学習者は何を学び取ったか
池田朋子(マギル大学)・磯部靖世(公立千歳科学技術大学)

P-6 自律学習プロジェクト実践報告『Genius Hour Project 2023』— 中級学習者を対象に—
石川比奈子(カルガリー大学)

P-7 SNS が貢献する若年層の方言使用 —方言使用の多様性の実態と言語習得の関係—
石岡優力(専修大学)

P-8 多様な背景をもつ留学生の教育 —スポーツ留学生の場合—
亀山泰(専修大学)

P-9 非母語話者日本語教師の利点を日本語教師養成プログラムにどう活かすか
川上尚恵・朴秀娟(神戸大学)

P-10 自己成長できる教員を目指して:読み書きクラスにおけるライティング指導実践の振り返り
川光真二(関西外国語大学)

P-11 留学期間中の教室内外での学びの経験を振り返る—留学経験者が記憶の中で「図」と「地」として認識しているもの—
森川結花(甲南大学)・谷川依津江(岡山理科大学)

P-12 ビジネス場面における報告書作成能力養成のための音声教材の開発
向山陽子・村澤慶昭・村野節子・山辺真理子(武蔵野大学)

P-13 COVID-19 era learners' needs and self-reflection on their Japanese learning: a study from PBL in a non-language course at a study abroad program in Japan
Naoko Nemoto (Mount Holyoke College)

P-14 日本語教育における効果的なカタカナ語指導のための基礎研究
小木曾左枝子(立命館大学)・阿久津純恵(東洋大学)

P-15 日本語学習者用速読教材の開発
田畑サンドーム光恵(マッセー大学)・渡部倫子(広島大学)・坂野永理(岡山大学)

P-16 三者会話におけるあいづち表現と合意形成:母語場面と相手言語接触場面を比較して
吉田悦子(滋賀県立大学)

P-17 遠隔会話の継続的な話者関係構築の特徴—カナダ日本語学習者と日本国内日本語母語話者との会話から—
吉田睦(国際基督教大学)